

○ハード対策の取組内容〔令和元年度計画〕

項目	分類	具体的取組	能代市	北秋田市	大館市	鹿角市	秋田県	気象庁	東北地整
■洪水を安全に流すためのハード対策									
	河道掘削								米代川の流下能力の低い区間において、河道掘削を実施 ・大館市長坂地区等で河道掘削を実施 ・能代市二ツ井町仁鮎地区で河道掘削を実施。
■危機管理型ハード対策									
	堤防天端の保護 堤防裏法尻の補強								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
	簡易水位計等の 基盤整備						<簡易型の河川監視カメラの整備> ・6月開催予定の県管理河川減災対策協議会で設置位置等を説明し、整備。		・簡易型河川監視カメラを新たに4基設置

○ソフト対策の取組内容〔令和元年度計画〕

項目	分類	具体的取組	能代市	北秋田市	大館市	鹿角市	秋田県	気象庁	東北地整	
①住民が自ら安全に避難するための取り組み【逃げ遅れない】										
■リスク情報の周知や防災教育・訓練等に関する事項										
防災訓練	1	<米代川流域内合同危機管理演習> ・大規模洪水を想定し、関係機関の防災システムやタイムラインを活用した、実践的な訓練の実施	<合同危機管理演習> ○「情報伝達方式」 ・5月10日「洪水対応演習」(国交省)で、協議会各機関参加により情報伝達を実施 ○深度化したタイムラインを活用した洪水演習方法検討	<総合防災訓練> ・道の駅ふたついを会場に総合防災訓練を実施予定 ・5月24日(金)	<総合防災訓練> ・9月頃に総合防災訓練を実施	<総合防災訓練> ・8月25日、河川の増水・地震を想定した大館市総合防災訓練を実施		<県総合防災訓練> 9月頃、北秋田市において大雨災害等を想定した避難、避難所開設、物資空輸等を実施 【継続】(支援) ・市町村主催の水防訓練への支援(開催場所の提供、水防資材の貸与) ・防災訓練に参加	秋田県総合防災訓練等、関係機関の実施する防災訓練には積極的に協力をしたので、是非お声掛け頂きたい。	【継続】(支援) ・各機関と確認・調整し、災害対策車両の展示など必要な支援を実施
	2	・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	・H28作成及び公表済 ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知	・ハザードマップの修正を検討	・ハザードマップの修正を行い、全戸配布を実施	【継続】 ・ハザードマップの修正を検討		<区域図作成> ・鹿角、北秋田、山本管内の水位周知河川12河川全ての想定最大規模降雨による浸水想定区域図を作成、公表。		・H28.5.31米代川、H29.6.30小猿部川公表済み
防災教育・広報	3	・教育機関等と連携し、小学校等への「出前講座」の拡充実施 ・「就業体験」や「現場見学」など、いろいろな機会を利用した防災講話等の実施(近年の災害を意識した講座)	・学校、自治会等へ防災担当者が出向いて防災に関する講話や図上訓練を行う「出前講座」を開催 ・小学校の正課クラブで防災に関する講座を開催	・教育委員会と連携を図り、防災キャンプ等への支援を継続実施 ・出前講座による、防災講話の継続実施	・小中学校で実施する出前講座などを通じて、防災に関する事項や避難所開設運営の指導を実施	【継続】 ・自治会等を対象にした出前講座を実施	・防災士を自主防災アドバイザーとして自主防災組織へ派遣するとともに、自主防災組織や町内会のリーダー、消防団員、市町村の職員等を対象に、防災講話や避難所運営訓練等を実施	<教育委員会と連携した学校安全外部指導派遣事業> ・引き続き、自然災害全般に関する講話を実施予定。 (学校安全・防災教育研修会) ・平成31年度 安全管理指導者研修会で県内教職員に自然災害や防災気象情報の活用方法に関する講話を実施予定	(防災講話) ・いろいろな機会です防災に関する講話を実施 ・現場見学、インターシップ、「水文等水位観測員講習会」等	
	3	・教育機関等と連携し、学習指導計画の作成を支援(教材・資料の提供含む)し、県管理河川を含む協議会に関連する市町村全ての学校に共有								・H30年度に作成した防災教育支援資料を、教育委員会を通し、各小学校へ配布。 ・必要に応じ出前講座実施
	3	・流域住民の防災意識向上を図るため、イベント等での広報・啓発活動の強化	・学校、自治会等へ防災担当者が出向いて防災に関する講話や図上訓練を行う「出前講座」を開催 ・イベント等の際に防災に関する啓発活動を実施	【継続】 ・各種イベント、住民参加イベント等での啓発等を実施	【継続】 ・町内会などを対象に防災意識・知識の向上を図るため、出前講座などを実施	【継続】 ・要望がある自治会及び自主防災会に出向き、防災訓練を行う	【継続】 <減災対策協議会資料の情報提供> ・引き続き県管理河川減災対策協議会の資料を県のホームページで随時更新のうえ、県管理河川の現状や課題、対応方針等の情報を提供	<広報活動>—「お天気フェア」 ・今年度実施、時期はこれから調整 観測機器の展示や自然現象の理解を促す実験、観測や予報作業の説明等	・H30年度実施したイベント広報活動(パネル展)の状況を踏まえ、広報のやり方を再考した上で効果的な広報活動を実施	
土地利用対応	4	・水害常襲地区の利用・建築等への助言・指導を継続	【継続】 ・水害常襲地区の利用・建築等への助言・指導を随時実施	【継続】 ・水害常襲地区の利用・建築等への助言・指導を随時実施	【継続】 ・水害常襲地区の利用・建築等への助言・指導を随時実施	【継続】 ・水害常襲地区の利用・建築等への助言・指導を随時実施				

: 支援

○ソフト対策の取組内容〔令和元年度計画〕

項目	分類	具体的取組	能代市	北秋田市	大館市	鹿角市	秋田県	気象庁	東北地整
■発災時の迅速かつ確実な避難に関する事項									
	防災計画	5 ・住民目線のタイムラインの作成と改善(市独自を含む)	【継続】 ・洪水発生後には検証タイムラインの見直しを検討	【継続】 ・大雨や洪水などの災害発生後にはタイムラインの検証を実施	【継続】 ・大雨や洪水などの災害発生後にタイムラインの検証を実施	【継続】 ・初動体制マニュアル及びタイムラインの修正	【継続】 ・必要に応じて、タイムラインを修正	県、市町村でのタイムラン作成支援を継続	【関連】 (防災体制の改善) ・洪水発生時や訓練時にタイムラインを検証し、随時改善していく ※鹿角市において、R元年度に浸水想定区域を策定。以降にタイムラインの深度化についても検討。
	情報提供	6 ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充 災害情報メール、 緊急速報メール 防災ラジオ など	【継続】 ・避難勧告等の発令や避難所開設情報等は防災行政無線、災害情報メール等で随時周知 ・早川水門(悪土川)の閉鎖状況について、悪土川流域自治会へ電話連絡するとともに防災行政無線で周知	【継続】 ・防災ラジオの普及率向上に向けた取組実施 ・防災ラジオ、災害情報メール等で随時周知	【継続】 ・緊急時情報一斉配信システムへの登録者数を増やすため、イベントや出前講座などで呼びかけを続けていく	【継続】 ・防災ラジオ、防災メールを活用し、災害情報などを住民に周知	・市町村と共同で「Lアラート」による避難勧告等情報の配信訓練を実施 <情報伝達手段の充実> ・「河川砂防情報システム」を改良し、簡易型の河川監視カメラの画像を表示。	【継続】 ・国土交通省による指定河川洪水予警報及び氾濫危険情報、氾濫発生情報の緊急速報メール配信(随時) ・ホットラインによる情報提供(随時)	【継続】 ・水防警報・洪水予警報及び氾濫危険情報、氾濫発生情報の緊急速報メール配信(随時) ・ホットラインによる情報提供(随時)
		・洪水時の 情報を入手しやすく する。 気象情報発信時の「危険度色分け」や「警報級の現象」等の改善						・防災気象情報の利活用促進 引き続き、「危険度を色分けした時系列」や「警報級の可能性」、「大雨警報(浸水害)・洪水警報の危険度分布」の普及啓発を進める。 ・大雨(浸水害)、洪水の注意報、警報について最新の災害データを基に見直しを行う。	
②災害時に人命と財産を守る水防体制の強化【備える】									
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する事項									
	水防体制	7 ・水防団等との重要水防箇所の巡視(市独自を含む)	〈合同巡視〉 ・国土交通省が開催する重要水防箇所合同巡視に参加	【継続】 〈合同巡視〉 ・国が開催する重要水防箇所合同巡視に参加	【継続】 〈合同巡視〉 ・国管理区間(国主催)、県と市の管理区間について、重要水防箇所合同巡視を実施	【継続】 ・大雨注意報の発表時に消防本部にて重要カ所の確認を行う	【継続】〈合同巡視〉 ・国が開催する重要水防箇所合同巡視に参加 ・県管理河川における県・市町村合同巡視を実施		〈合同巡視〉 ・能代市6/20・北秋田市6/11・大館市5/29に市長の参加をいただき、市の消防機関、県(振興局)、国で重要水防箇所等の合同巡視を実施予定
		7 ・水防団・自主防災組織などが参加した水防訓練の実施	・道の駅ふたついを会場に水防訓練を組み込んだ総合防災訓練を実施予定 5月24日(金)	【継続】 (水防訓練) ・消防団員等による水防工法訓練を実施	〈水防訓練〉 ・5月26日、消防団員等による水防工法実地訓練を実施(継続)	【継続】 [水防訓練] ・5月26日に鹿角・小坂水防訓練を実施	【継続】〈支援〉 ・市町村を対象に水防連絡会を開催 ・市町村の水防訓練に参加・支援	・要請があれば協力・支援を行う	【継続】〈支援〉 ・各機関の水防訓練計画に対応して、必要な支援を実施
		8 ・要配慮者利用施設等の避難確保計画・避難訓練への支援	【継続】 ・浸水想定区域内の福祉施設に対し、避難確保計画の作成支援を実施	・要配慮者利用施設等の避難確保計画・避難訓練実施への支援を強化	浸水想定地域内に立地する要配慮者者利用施設に対して、避難確保計画・避難訓練への支援を継続していく	【継続】 ・防災ラジオの無償配布 ・避難確保計画の作成支援	【継続】〈支援〉 ・県管理河川減災対策協議会での避難確保計画策定等に関する情報提供	・要請があれば要配慮者利用施設の避難確保計画作成のための講習会等への協力・支援を行う。	【継続】 ・全国の取組事例等を随時情報提供
		8 ・水防資機材の保有状況の確認、 情報共有 ・ 確実な水防資機材の補充	【継続】 ・水防活動等に必要な資機材のストック状況の確認及び必要数の整備・確保	【継続】 ・水防資機材の保有状況について、消防本部と情報を共有する	【継続】 〈点検確認〉 ・水防資機材の在庫確認や点検	【継続】 ・水防倉庫の定期的な在庫確認を実施	【継続】 ・5月に水防倉庫の資材を確認し、必要に応じて資材の補充を実施		【継続】 ・定期的に水防資材を確認し、不足資材の補充を実施
③一刻も早く日常生活を取り戻すための取り組み【早期の回復】									
■排水訓練、地域連携に関する事項									
	排水施設	9 ・排水訓練の実施に合わせた、 地域住民への周知 活動の実施 ・排水施設等の情報共有							〈活動の周知〉 ・出水時対応の理解を得るため、排水作業訓練において周辺住民にお知らせし実施(能代市悪土川で排水ポンプ稼働試験)
		9 ・大規模氾濫時の排水計画(案)を作成							・米代川流域で市街地を除く部分について、計画を作成
	自治体間連携	10 ・自治体間 相互連携(流域共助)の強化 (受け入れ体制強化)	・米代川減災対策協議会等への参加し情報を共有		・情報共有を図り、受け入れ支援体制について検討を進める	-	-		

■ : 支援